

平成26年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	宮沢 吉浩
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3 2 5 4
事務事業名	4127 廃プラスチック再資源化事業										
所 属	140100 環境部・生活環境課										
施 策	03011200 循環型社会の形成										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費									
	事業	040000 廃プラスチック再資源化事業									
事業目的						事業概要・効果					
プラスチック類容器包装、ペットボトル等のリサイクルの促進を図る。						プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化が図れた。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
安全かつ安定した、プラスチック類容器の圧縮梱包処理を行うため、減容機油圧シリンダーのオーバーホールを実施した。	プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化が図れた。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
安全かつ安定した、プラスチック類容器の圧縮梱包処理を行うため、減容機、押し出しゲートシリンダーのオーバーホールを実施予定。	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		45,287	48,913
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	27,401	29,870
一般財源	17,886	19,043	
人員数(人)	正規職員	0.6	0.6
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	4,114.8	4,114.8
	嘱託職員	817.5	817.5
	臨時職員	235.4	235.4
	計	5,167.7	5,167.7
市民一人当たりの経費	1.0	1.0	
総額	50,454.7	54,080.7	

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	44,792	有価物処理委託料、廃プラスチック収集委託料、ストックヤード管理業務委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	495	ペットボトル売却収入負担金
その他	0	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	2,280	修繕料
13節 委託費	45,958	有価物処理委託料、廃プラスチック収集委託料、ストックヤード管理業委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	675	ペットボトル売却収入負担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	ごみの減量、リサイクルを推進し、循環型社会の形成及び清掃センターの処理負担の軽減が図れた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	ごみの減量、リサイクルを推進し、循環型社会の形成及び清掃センターの処理負担の軽減が図れた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	ストックヤードの維持管理を民間事業者に業務委託し、経費の節減が図れた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

廃プラスチック類容器及びペットボトルの適正な処理を行い、ごみの減量、リサイクルを推進し、循環型社会の形成及び清掃センターの処理負担の軽減が図れた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>ごみ排出量の削減のため、リサイクルの推進による資源化を市、市民、事業者が一体となって取り組むことが重要である。</p>		<p>本事業は、資源の有効活用、co2の削減、清掃センター焼却炉の延命など、多面的に有用な事業。2月の大雪により本事業の拠点であるストックヤードが被災し、一月以上に亘って長野市に処理委託を行った。継続が必要である。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	